

活動紹介!

東久留米ニューハーモニー

指導者の下で、歌唱力の向上を目指すカラオケ教室です。毎回、活動の前半は、共通の曲をみんなで練習し、後半は、各人がお気に入りの曲を順番に歌います。

ここで鍛えた自慢の歌声は、東久留米市の市民文化祭などのイベントで披露されます。毎回30名近いメンバーが集まる活気に溢れたサークルです。女性会員が大半なので、男性会員大募集とのことです。



8月の催しから

- 3(土)
 - ・瀬戸ピア / 教室発表会
- 4(日)
 - ・極真空手発表会
 - ・宮地楽器ダンス発表会
- 13(火)~16(金)
 - ・成美教育文化会館夏季休館日
- 17(土)
 - ・英語スピーチコンテスト
- 18(日)
 - ・東久留米お笑いフェスティバル
- 24(土)
 - ・東久留米ろう者協会講演会
 - ・谷口ピア / 教室発表会
- 25(土)
 - ・武蔵野北高校 OB 吹奏楽発表会
 - ・ペルーダンス発表会
- 31(土)
 - ・藤城ピア / 教室発表会

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から

今月の話題 - アタッチメント

アタッチメントという言葉をよく耳にするようになりました。アタッチメントというと、ある道具や機械の性能を広げ、より便利にするために取付ける付属品のことをまず思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。しかし、これ以外に「愛着」という意味があります。この場合のアタッチメントは心理学用語で、「恐怖や不安を感じたとき“特定の誰か”にくっついて安心感を得ようとする本能的な欲求や行動」とか「主に乳幼児期の養育者との間に築かれる情緒的な結びつき」などと説明されています。これらが十分に満たされることによって、子どもは自他への信頼感をもち、望ましい人格の基盤をつくり、様々な能力や資質を育てていきます。

今、アタッチメントが話題になっているのは、「乳幼児期におけるアタッチメントのあり様が成長してからの人とのかかわり方における固有の型につながっているのではないか。そして、その型を理解すればもっと人と上手にかかわれるのではないか。」という期待です。それはそれで結構なことですが、しかし、もっと話題にしてもらいたいことは、望ましいアタッチメントとはどのようなもので、それはどのようにしてつくられるのかということです。ある人は、アタッチメントのはじめの一步は、良くも悪くもまず受容、そして常に関心をもち続けて、相手のサインに対して適切に回答することだと言っています。子どもの反応に対して無視とか無反応とかはもってのほかです。

子育て中の方には、特にアタッチメントに関心を高め、子育てに上手に役立てていただきたいと思います。

